



なごみの郷

祝祭日は国旗「日の丸」を揚げましょう

白地に赤く 日の丸をめぐめて

ああ美しい 日本の旗は

(日本の唱歌より)

第26号

令和2年

7月15日発行

奈加美神社

泉佐野市中庄 834

電話 462-7080

夏越の大祓・疫病鎮静祈願



去る六月三十日午後七時より毎年恒例

の夏越の大祓を執り行い、疫病(新型コロナウイルス)の逸早い鎮静、収束をご祈願申し上げました。

昨年末に中国武漢で発生した新型コロナウイルスは、瞬く間に世界各国にまで感染が拡大し、日本においても緊急事態宣言が発出されるなど非常事態となりました。

期間中は学校もお休み、会社もテレワーク、休業要請が出された業種も有りました。精神的経済的にも不安定となり社会は混乱を極めています。ステイホームを合言葉に不要不急の外出は極力控えるなど、何かとストレスの溜まりやすい状態が続きました。

この夏越の大祓は半年間知らないうちに身に降り積もった罪や穢れ、ストレスを祓い去って心身を浄化する神事であり、備後国風土記に伝わる疫病除けの信仰に基づき、無病息災・延命長寿を祈願する神事でもあります。

通常であれば境内で執り行いますが、当日は雨天につき拝殿内でご奉仕申し上げます。

げ、密を避けるため役員のみの参列とさせていただきます。

茅の輪くぐり神事につきましてもいつもは長い行列ができますので、ソーシャルディスタンスが確保できないため、各自でめぐり頂きました。

この茅の輪は、字の如く茅(チガヤ・イネ科の植物の総称)を輪にしたものです。当社では上瓦屋の中ノ池の辺に生える葦を用いております。水辺の葦は水質を浄化する作用がありますので、その葦で作った茅の輪をくぐることに、心身の浄化を図ります。

ご参加頂きました皆様には大祓の厳修の証として「茅の輪御守」をお分かちさせて頂いております。この御守も備後国風土記に伝わるもので、疫病がその家に入り込まないように玄関先にお祀りします。この大祓は毎年六月三十日と十二月三十一日の年に二回、半期ごとに執り行っておりますので、どうぞご参加頂きまして、心身の浄化を願い清々しい気持ちで健やかに過ごして下さい。

末社・大宮稻荷神社事業報告

大宮稻荷神社の改修工事につきましては、去る四月十五日に地鎮祭を執り行い、その後の工事は順調に進んでおります。

五月二十一日に入口の大鳥居を設置、六月九日には和泉砂岩を用いた神宮遙拝所のモニメント、岡崎産の花崗岩を用いた手水鉢が設置されました。今後は石燈籠・石玉垣が設置される予定です。

今回の事業は第六十二回式年遷宮の古材の譲与を契機として始まりました。伊勢の神宮は日本の総氏神であり、内宮の



令和2年4月15日 大宮稻荷神社地鎮祭
晴天に恵まれ総代会施工業者参列のもと執り行いました



御正宮には天照大御神がお鎮まりになり、ご神体は三種の神器の一つ「八咫の鏡」です。氏神奈加美神社からも天照大御神をお参り頂けるように神宮遙拝所（神鏡のモニメント）を新設いたしました。

遙拝とは遠く離れた所から遙かに拝むことで、この施設はお伊勢さまの方角を向いております。この石造の神鏡と下の



写真の手水鉢は、愛知県岡崎市の狛犬の石匠、異彫刻の綱川氏に彫って頂いたものです。

手水鉢も三種の神器の一つ「勾玉」

です。これも伊勢の地に思いを馳せ外宮の勾玉の池をイメージして彫って頂きました。



そして水口は泉州水茄子、奈加美神社オリジナルの「成就なす」です。水茄子は絞ると水が出るほど水分を含みますので今回の水口に用いました。

竣工後は遙拝所を通して神宮をお参り頂き、お伊勢さまを身近に感じて頂ければ幸いです。

当初の竣工予定は昨年の秋頃でしたが、諸事情の都合で一年遅れの今年の秋頃の竣工となりそうです。工事期間中はもう暫くご不便をお掛けいたしますが、ご容赦の程宜しくお願い申し上げます。

なお、大宮稻荷神社の旧社殿は、以前に石巻市の鳥海神社様に震災復興支援として小社殿を奉納させて頂きましたように、今回も東京の下谷神社阿部宮司様の仲執り持ちを頂き、福島県浪江町に鎮座する雷神社様に奉納させて頂きました。

江戸時代からの手水鉢

当社の手水鉢は天保十二年（一八四二）、今から一七八年前に湊の里井忠左衛門と平松九左衛門より奉納された立派なものです。

六月中は新型コロナウイルス感染拡大予防のため、不特定多数の方が触れる手水用の柄杓を撤去し、水を抜いておりました。このタイミングに長年の錆の汚れを洗浄し美装しようと、岡田石材様に

ご協力を頂きました。

天保年間に奉納されてより、本格的な洗浄をしたのは初めてかもしれません。

高圧洗浄、薬剤洗浄、研磨作業、長い年月の間にこびり付いた汚れを落とすのはなかなか大変そうでしたが、見事に天保年間奉納時の美しい手水鉢に甦りました。

汚れていた頃は手水鉢になんと彫ってあったのか、あまり

気に掛けておりませんでした。洗浄後は文字がくつきり浮かび上がり、どのような字でどのような意味があるのか疑問が湧きましたので、知人の元大学教授の神職さんに尋ねたところ色々調べて下さいました。

この場合は左からではなく、右から読みます。くずし文字ですから書道の先生や古文書などを読める方でないと分かりません。

この鉢に彫られている文字は「盥盥」でカンワンと読みます。「盥」は水を入れ手などを洗う器ですが、器（皿）の水を両手ですくっている形からできた漢字です。

「盥」は「碗」の異字体で水を盛る器という意味があります。したがって、手をすすぐ器という意味になります。

ご参拝の折は、まずこの美しく甦った手水鉢でお手水をして頂き、心身を清めてご神前で心静かにご参り下さい。



奈加美神社神饌田（若宮）

神社の祭礼は稲作を中心に行われています。春の祈年祭、御田植え祭、秋の例祭、新嘗祭、全て稲作に関わるお祭りです。祈年祭の「年」は米を始め穀物を表わします。春に五穀豊穰を願い、秋に収穫感謝を捧げ、お正月には家の玄関には門松、しめ縄を飾り、神棚やお床に鏡餅を供え「年神様」を迎えます。この「年神様」は米・穀物の神様です。

今年には日本書紀が編纂されて一三〇〇を迎えました。日本書紀や古事記には日本の神話が記されています。神話によると、天上界・高天原を治める天照大御神が孫の瓊瓊杵尊（ニニギノミコト）を地上（豊葦原瑞穂国）に降す時、稲穂を授け稲作を伝えたとされています。

以来日本人の主食として大切にされてきました。神社においても毎朝「お日供」



として神様にお米、お酒、お塩、お水をお供えします。神様へのお供え物を神饌（しんせん）と言います。今年から中庄の「若宮」と呼ばれている田んぼを「神饌田」として、伊勢の神宮から賜りました「イセヒカリ」と言う品種のお米を作って頂くこととなりました。

奈加美神社の社名は明治四十二年に改称されましたが、以前は「大宮神社」と言う社名で、神饌田の若宮がある辺りは「若宮神社」が鎮座していた所縁深い土地になります。大宮を本社として若宮はその御分霊を祀る、或いは御子神を祀る社のことで、中庄の若宮神社は前者で大宮神社から勧請された応神天皇が祀られています。

五月二十四日の田植え当日の早朝には御田植え祭を執り行い、神饌田を祓い清め、五穀豊穰をご祈念申し上げます。収穫したお米は神様の神饌米、毎月おいただいたお配りするポン菓子、平生のご祈祷・お祓いのお下がりとして使わせて頂く予定です。



安産戌の日まいり

当社の主祭神は応神天皇（八幡さま）、そして配祭神には母君の神功皇后がお祀りされております。古事記によると約一八〇〇年前、神功皇后は朝鮮半島に出征した際、お腹に応神天皇を身ごもっており、その時に石を帯の中に巻き付け、帰還後に無事お産みになったことが記されています。このことから神功皇后は安産の神として崇められ、岩田帯の起源にもなったと言われています。安産祈願は一般的に妊娠五ヶ月の戌の日にお祓いを受け、岩田帯を着帯します。戌の日にお参りするのは犬が多産であり、安産であることに因みます。

目出度く子宝に恵まれた際には、戌の日の安産祈願にお参り下さい。安産御守、岩田帯と共に、普段でも簡易にお使い頂ける腹巻型の腹帯もお授けしております。



奈加美神社に伝わる大絵馬
円山応挙の門弟により描かれたもので、神功皇后と
応神天皇を抱く武内宿禰。



ご祈祷のご案内

お宮参り ・ 安産祈願 ・ 七五三
厄除け ・ 車のお祓い ・ 地鎮祭
住宅入居のお祓い、各種お祓い
神道家葬祭 ・ 霊祭、神棚の
相談等も受付致しております
お電話にてお問い合わせ下さい

公式ホームページ開設
<http://www.nakami.org>

令和2年 安産戌の日表

6月	12日（金） 24日（水）
7月	6日（月） 18日（土） 30日（木）
8月	11日（火） 23日（日）
9月	4日（金） 16日（水） 28日（月）
10月	10日（土） 22日（木）
11月	3日（火） 15日（日） 27日（金）
12月	9日（水） 21日（月）